

こどもみらい園ぼぼらす 支援プログラム

作成日 令和7年3月21日

法人理念	すべては個人の尊厳の為に 私達はノーマライゼーションの精神を根底に据え、清風会グループの職員として誇りを持ち、地域の皆様に信頼をいただける医療・介護・福祉を提供してまいります。
基本方針	①利用者様の権利と尊厳を尊重し、誠実な対応を心がけてまいります。 ②利用者様がいつまでも安心して暮らしていけるよう、地域に密着した医療・介護・福祉サービスを提供し、地域やご家族とのつながりを大切に貢献してまいります。 ③技術や知識の習得に努め、高品質な医療・介護・福祉サービスの提供を通じて、利用者様、ご家族様の信頼確保に努めてまいります。 ④他の医療機関や介護施設、福祉施設と積極的な連携を図り、地域医療・介護・福祉連携の推進に努めてまいります。

営業時間	保育(月～土)7:30～18:30		送迎の有無	有り (放デイのみ)
	児発(月～金)9:00～15:00/居宅訪問型児童発達支援(月～金)9:30～16:00			
	放デイ(月～金)15:00～17:00/(土曜日・長期休暇)10:00～16:00			
項目	支援内容			
	未満児保育(うさぎ組)	児童発達支援(ぱんだ組) 居宅訪問型児童発達支援	放課後等デイサービス(きりん組)	
本人支援	健康生活	<ul style="list-style-type: none"> 登園時に検温、バイタルチェックを行う。 利用中、体調に異変があった時は適切に対処する。(医療機関への受診、保護者への状況の連絡) 		
		排泄,食事,着替えといった基本的な技術を修得できるよう支援する	専門職員が子ども達の特性に応じた支援を行う。	
	運動感覚	<ul style="list-style-type: none"> 戸外に出て走ったり、しゃがんだり、体を動かす遊びを取り入れて活動する。 雨天時も五感を十分に活用できるような遊び(新聞紙遊びやトランポリン、スライムづくり等を積極的に取り入れる)・四季折々を感じれる遊び。感覚遊びを日替わりで行う。 		
	認知行動	個々の認知の特性について理解し、それぞれに合った対応を適切に行っていく。		
		大小、数、色といった物を少しずつ理解できるように支援していく。	状況の変化に対応できるように支援していく。	
言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> どうしたいのか、今の気持ちなどを自分の言葉で伝えていけるよう支援していく。 ”聴く” ”要求” ”見る” など自分も周囲の人も大切にコミュニケーションが出来るよう支援する。 うまく言葉にできない子どももジェスチャーや、目線、表情など子ども達からのコミュニケーションをしっかりと受け取れるようにする。 			
人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 朝の会や活動の時間を通して障がいの有無に関係なく、一緒に過ごす仲間としての関係を育んでいく。 一人一人を尊重し、一人一人を認め合う関係性を築く。 一緒に遊ぶ中で待つ、譲るといった気持ちをコントロールする力を育んだり社会性の発達を支援する。 			
地域支援 地域連携	子どもに関わる地域の関係者、関係機関との連携(他の児発や放デイ等の事業所との情報共有、子どもが通っている医療機関等の主治医、担当者とやり取りを行う等)			
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 同年代の子どもとの関わりを持てるようにする(他園との交流保育等) 移行先(保育園、幼稚園、小学校等)との情報共有を行う。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 子育てに対する困りごとや、悩みに対して相談や援助を行う。 保護者から希望があれば、園での様子を見学したり、個別面談等を実施している。 			
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> オンラインでの研修参加 外部講演会、研修会への参加 職員会議での意見交換、伝達講習 			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 入園式、園外保育、夏あそび(プール・どろんこ遊び・絵具遊び)、お泊り会 運動会、お店屋さんごっこ、クリスマス会、おもちゃつき会、発表会、お別れ会、卒園式 			